



▲喜びの榎田選手(右)



▼全日本初優勝の宝田選手(中央) 第2戦4位の杉本選手▲▼



'92全日本ダートトライアル CMSC勢開幕3連勝(AIVクラス)!

第1戦 札幌・宝田芳浩選手 第2・3戦 岐阜・榎田正文選手

全日本ダートトライアル第1戦は、例年通り熊本県荒尾市の三井オートスポーツランドで開催されました。AIVクラスでは、CMSC札幌の宝田芳浩選手が積極果敢な走りを見せ、全日本初優勝の快挙をものにしました。5位にはCMSC岐阜の榎田正文選手が入賞。CMSC勢の健闘ぶりが目立ちました。1stトライ2番手の宝田選手は、前半の直線、高速コーナ

ーをフルスロットルで激走。後半のテクニカルコースでも絶妙のライン取りで好タイムを上げ、開幕戦、しかも全日本初勝利をものにしました。

続いて第2戦は、奈良県の名阪スポーツランドで開催されました。AIVクラスではCMSC岐阜の榎田選手が、1stトライ、2ndトライともトップタイムを記録する圧倒的な強さをみせて優勝。2位には

CMSC群馬の荒井信介選手、4位にはCMSC大阪の杉本達也選手、6位にはCMSC山形の赤羽政幸選手が入賞しました。前日の雨の影響でコースはウェットな状態でしたが、1stトライで榎田選手はワダチをうまく乗り切り、トップタイムをマーク。その後、ハイスピードレースとなった2ndトライでさらにタイムを縮め、トップで圧勝したのです。

長野県のスポーツランド信州で行われた第3戦では、榎田選手が2ndトライで一挙に逆転優勝を遂げ、第2戦に続いて2連勝を飾りました。さらにCMSC群馬の荒井選手、CMSC札幌の千田俊二選手、CMSC山形の赤羽選手がそれぞれ6位～8位を占めて大健闘。CMSC勢は開幕3連勝の快挙を成し遂げたのです。過酷なヘアピンを完璧にこなし、見事優勝の栄冠を手にした榎田選手をはじめ、各選手の今後の活躍がますます期待されます。

積極的な2ndトライで、初優勝の開幕戦!

全日本ダートトライアル選手権 参戦記

CMSC札幌 宝田 芳浩

'92全日本ダートトライアル開幕戦は、北海道にいる私にとって一番遠い、九州での開催となりました。4月ということでは練習できず、不安が残っていたものの、予選当日は雨。ウェットなコンディ

ションに、雪道での練習がここで生かせるという気持ちで臨み、予選1本目を6位で通過しました。6位入賞を目指していたので、まずは目標達成です。

決勝当日、雨はあがったものの所々ウェットな状態の中を、ドライ用タイヤでスタートしました。雪道と違ってグリップもコントロールしやすく、1本目は2位で終了。しかし、2本目は各クラス異常な

までのタイムアップで1本目のタイムが参考タイムにもならず、2本目の一本勝負となりました。かなり緊張しつつ2本目をスタート。自分でも驚くほどスムーズにコーナーをクリアしてゴールを果たし、開幕戦でまさかの優勝を遂げることが出来ました。

喜びも束の間、今後の全日本で予測のつかない戦いに、大変なプレッシャーを感じています。

心機一転、新型ランサーでトライアル。

ダートトライアル岩手県シリーズ 参戦記

CMSC岩手 工藤 長実

東北の長い冬も終わり、岩手にもモータースポーツの季節が到来。4月26日、ダートトライアル県シリーズ第1戦が、岩手県高原駐車場で開催されました。私は昨年まで、ギャランVR-4で出場していましたが、今年から心機一転、新型ランサーにチェンジしました。CD5 Aで出場して感じたのは、ギャラン

と比べてブレーキ性能が優れ、ノーマルパッドでも十分な制動が得られるのではないだろうかということ。コーナリングに関しては、「あれ、ギャランだったらコースアウトかな?」と思うようなスピードで突入した時も、楽に走り抜けることができたように思います。当初自分で想像していたより、操作性もかなり良く、セッティングを煮つめていけば、まだまだタイムをつめる余地があると考えます。

これからのラリーやダートトライアルには、ひき

続き新型ランサーで出場していきたいと思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

工藤選手の走り



総合クラス6位入賞。所期目標を見事達成!

DE地区 地方選手権ラリー 参戦記

CMSC大阪 中田 裕二

4月25日。「遅刻したら大変や」とばかり、食事もとらずに急いで出かけたスタートナイトラリー。恵那インターでおり、アルプスの残雪が光る新緑の美しい風景を楽しみながら、梶の上高原会場へ。ギャランVR-4を快調に走らせるチームメイトは、種

口、山下組の2クルーエントリーです。CMSC大阪が発足して約1年。杉本達也会長の叱咤激励のもと、今年の中部・近畿地区ラリー選手権の第1戦ということもあり、みんな張り切って臨みました。

さて競技内容は、グラベル70%、ターマック30%からなる2ステージ制で、スペシャルステージ9本約30kmを含み、ラリー区間の補正に大いに悩む設定。1ステージの傾向をみて2ステージに対処し、

さらに全開走行、という作戦をとりました。石がゴロゴロしているコースに多少苦しみながらも、無事に完走。総合クラス6位入賞で初期目標を見事達成し、非常に嬉しい成績をあげることができたのです。樋口ちゃん、今年も頑張らな!次は地元でっせ!



トラブル続出ながらも、無事完走!

DE地区 地方選手権ラリー 参戦記

CMSC岐阜 浅野 博孝

毎年恒例の「スタートナイトラリー」。例年ならオフィシャルとして出かけるところなのですが、何と今年はCクラスに出場することになりました。車は新型ランサーRS。ナビゲーターは、今回で3戦目というCMSC岐阜の事務局員であり会員でもある早瀬

要治氏。最年長コンビとしての出場です。

第1ステージ中盤頃から、コンピューター故障が始まりパニックの様相。さらにアンダーガードがミッションケースに当り、室内で何を言っても聞こえない状態の中、何とかSS4本と6CPを終え、サービスポイントで応急処置をしてもらって第2ステージへ。ところが、またもやラリー終盤に入ってトラブル発生。SS8でマフラーステーがプロペラシャフ

トに食い込んでしまい、異常音が発生しました。何とか完走はしたものの、大変に苦労したラリーとなったのです。尚、クラブ員でAクラス出場の三園君はダンガンで健闘。7位の成績でした。

サービスポイントでお世話になった皆さん、岐阜地区よりオフィシャルとして出かけて下さった皆さん、本当にありがとうございました。

悪天候の中、多数のエントラントに感謝!

CMSC群馬

群馬ダートラリーシリーズ第2戦

'92CMSCトライアルin那須 5月24日

どしゃぶりの雨が降る5月24日、丸和オートランドにて、群馬ダートラリーシリーズ第2戦'92CMSCトライアルin那須が開催されました。悪天候にもかかわらずエントリはなんと153台にのぼり、主催者である私たちは一安心。前日から降り続いていた激しい雨をものともせず、果敢なレースが展開されました。

丸和にしては比較的テクニカルな、約1.9kmのコー

ス設定。1本目はやはり雨のためか、タイムは全体的にもう一つといったところでした。天気予報は次第に良くなるということだったので、2本目に期待をかけたものの、強風にあおられさらに雨足は強くなり、おまけにヒョウまで降り出す始末でした。結局、2本目のタイムも思うように伸びないまま。あまりのコンディションの悪さに、本来の自分の走りができなかった選手も多かったように思います。

表彰式も大雨の中、喜びにひたる間もなく慌ただしく行われました。今回の三菱車のエントリーは16台でしたが、恒例の三菱賞は、1位堀部泰選手、2

位相良治選手、3位山田新二選手、という結果になりました。輝かしい栄冠を手に入れた皆さん、おめでとうございました。最悪のコンディションではありましたが、お陰様でトラブルもなく無事競技を終了することができました。関係者の皆さん本当にありがとうございました。

(CMSC 群馬 堤 玲子)

